

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.188(令和3年1月)

少しずつ寒さが和らいできましたが、リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。東京、大阪等の大都市圏では昨年5月ぶりの緊急事態宣言が発令されました。香川県においても、昨年末より感染が拡大し、外出自粛の要請が出ております。皆様も十分に感染対策を行って生活してください。

今回は今年度、香川河川国道事務所が土器川で実施した工事についてご報告致します。

○土器川潮止堰の老朽化に伴う改築工事

香川河川国道事務所では、平成30年度から古くなったゴム引布製の潮止堰を鋼製のゲートに改築する工事を行っております。これまでのゴム引布製の潮止堰は、塩害から丸亀市の皆さんの生活を守ってきましたが、完成から40年経過し、老朽化が進んだことで機能維持が難しくなったことから改築工事をおこなっています。

新しい潮止堰はステンレス製ゲートで、平成30年度より工場製作を開始し、土器川への据付工事は令和元年11月から開始しています。昨年の6月に左岸側が完成し、現在は右岸側のゲート工事を行っており、令和3年6月の完成を目指して鋭意、工事を進めています。土器川の近くを通られた際には、是非ご覧ください。



(R2.06撮影)



(R2.02撮影)



(R2.12撮影)



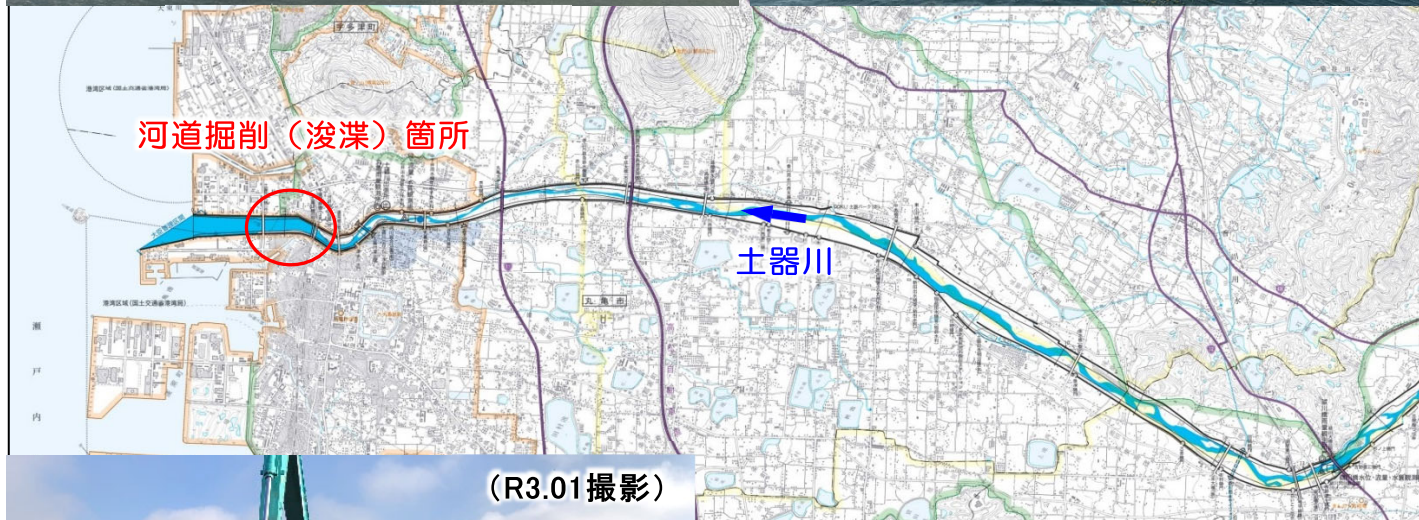
(R2.02撮影)

○土器川河口部（土器・飯野箇所）における流下能力向上のための河道掘削工事

香川河川国道事務所では、「令和2年度 土器川右岸堤防外工事」等の4件の工事で、土器川の河口部において流下能力（川が流すことのできる洪水の規模）の向上のための河道掘削工事を実施しています。

河口部に堆積した土砂は水を多く含んでおり、河川外への搬出が困難であったことから『高濃度ポンプ式浚渫船』による掘削を採用し、掘削した土砂は袋詰脱水工法により脱水処理を行い、堤防法尻に設置することで、有効活用と堤防強化を図っています。

次の出水期に向けて、流れの速い土器川の洪水を安全に流下させるため工事を進めて参ります。



河口部に堆積した土砂の活用

イメージ図

通常、水分量の多い土砂は産業破棄物として最終処分されますが、袋詰脱水工法の採用したことで、堤防法尻部に袋詰脱水袋を設置することで掘削土砂の有効活用と堤防強化を図ることが出来ます。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

